

大阪損保革新懇 第19回総会 記念講演

10・21(金)
PM6:30~
エルおおさか南ホール

立憲主義を守り〈人間性〉をとりもどす政治を!

同志社大学大学院教授 **岡野 八代** さん



〈人間性〉とはおおげさだと思われるかもしれませんが。しかし安倍首相の談話や自民党改憲草案を読めば、私たち人間の「良心」や「尊厳」にかかわる、とても大切な人間の能力を破壊する行為を、安倍首相がこの間ずっとおこなってきたことが分かってきます。それは、私たち人間の過去と現在を反省する力です。日々の反省と新しい態度の繰り返しが人間としての成長であり、政治的にいえば民主主義の原点です。

おかのやよ さん (政治学博士) 西洋政治思想史 フェミニズム理論 三重県松阪市出身
早稲田大学政治経済学部政治学科卒業 同大学院政治学研究科修士課程修了 トロント大学博士課程留学
立命館大学法学部助教授・教授を経て 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授
著書:『憲法のポリティカー-哲学者と政治学者の対話』(共著) 白澤社 2015
『フェミニズムの政治学-ケアの倫理をグローバル社会へ』みすず書房 2012

[基調報告]

個人の尊厳と損保の未来

— 損保産業の担い手は従業員と代理店 —

松浦章 さん: 大阪損保革新懇世話人

兵庫県立大学客員研究員 (経済学博士)

著書

「日本の損害保険産業 CSR と労働を中心に」 桜井書店 2014
「マルクスの思想を今に生かす」 (共著) 学習の友社 2012

エルおおさか南ホール

(大阪府立労働センター 南館5階)

大阪市中央区北浜東3-14

地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m

参加協力費 1000円



終了後、懇親交流会を開催します。

友人・仲間と共に…

酒蔵 多氣 (たき)

参加費3000円

保育所
あります



大阪損保革新懇

大阪市中央区道修町3-3-10 日宝道修町ビル3階 電話: 06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://osakasompo.perma.jp/>

個人の尊厳と損保の未来

安倍内閣は、参議院選挙の結果を受けて、憲法「改正」に踏み出そうとしています。

自民党改憲草案を読めば、天皇を「日本国の元首」とする、「公益及び公の秩序」（国益）を理由に自由や人権を制限する、自衛隊を「国防軍」とし日本を「戦争しない国」から「戦争できる国」にする、等々、その時代錯誤の内容に驚かされます。

それは、岡野八代教授の言葉を借りれば、「およそ憲法の名に値しない」（『憲法のポリティカ』白澤社、2015年）代物です。なぜか。自民党改憲草案には、憲法の基本である「立憲主義」の考え方が欠如しているからです。

自民党改憲草案では憲法第13条を次のように変えようとしています。

（日本国憲法）「すべて国民は、個人として尊重される」



（自民党「日本国憲法改正草案」）「全て国民は、人として尊重される」

現憲法の「個人」が「人」に変わっています。これは単に言葉だけの問題ではありません。「個人」という概念がこの草案では消されているということです。「個人の尊重」は、すべての国民がそれぞれに個性を持つ「個人」として尊重されるという、立憲主義に基づく憲法の根幹となる考え方です。その憲法の要を捨て去り、犬や猫と違うという意味での抽象的な「人」という集団としてとらえるのが自民党の考え方です。

自民党改憲草案のとおり「個人の尊厳」が踏みにじられた場合、どんな社会、どんな産業の未来が待っているのでしょうか。

個人の尊厳の問題は、損保産業が求められる社会的役割をはたしうるかどうかという点で私たち損保産業の未来にも大きくかかわってきます。産業の担い手である従業員、代理店に対する「個人の尊厳・個人の尊重」なくして健全な損保産業の発展はないからです。

今、損保各社では「女性の活躍推進」という名目の下、結婚・出産・子育てをしながら働き続けられるようにと、形ばかりの新しい制度がつけられています。私たちが本当に望む働き方を、そして社会の在り方を一緒に考えてみませんか。

大阪損保革新懇の三つの座標軸

- ① 損保は「平和産業」である
- ② 損保は国民生活に密着した「セーフティネット産業」である
- ③ 損保は「生きがい・働きがい産業」である

大阪損保革新懇

大阪府中央区道修町3-3-10 日宝道修町ビル3階 電話：06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://osakasompo.perma.jp/>